

■木村肥佐生 戦時下にモンゴル僧に変身しチベットに潜行、敗戦でアメリカ大使館の情報担当、モンゴル再訪目前に没。

きむらひさお

水平社結成・1922＝ 長崎県佐世保市で生まれる。

満州事変・・1931＝9歳：

アメリカ系ミッションスクールの熊本九州学院に入り、

日中戦争始・1937＝15歳：

第二次大戦始1939＝17歳：卒業。若松の海員養成所に入り、神戸で南洋定期航路の船に乗り込む直前、幼くして別れたままの母に再会すると下船、母の再婚先に居候するうち、この年、内モンゴルに設立された興亜学院のことを知り、

大政翼賛会・1940＝18歳：入学(2期生)。モンゴル語ほか、アジア諸国の言語・地理・歴史を学んだ後、

日米開戦・・1941＝19歳：モンゴル人になりきるため、シリングル盟東スニット旗の草原で生活するうち、トルゴート・モンゴル族に興味を抱き、日米開戦を契機に、日本政府の意向に便乗して調査を買って出、徴兵検査年齢を待って、
創価学会検挙1943＝21歳：*張家口の日本大使館調査官となり、モンゴル僧ダワサンボーとして、モンゴル人ダンザンハイロブ夫妻の付添いを得て、西北ルート潜入に出発、

年金+総武装 1944＝22歳：テンゲリ砂漠を越え、西寧に着く。青海省の有名なクムブム寺で、初めてツァンパの味を知る。身分を疑われ、滞在するうち、目的地をラサに変更、

敗戦・・・1945＝23歳：ツァイダムを出発し、ラサに着く。日本敗戦の噂で、ラサを出、インドもカリンボンに着いて、日本敗戦が事実と分り、衝撃を受ける。西川が現われ、驚嘆。ダンザンハイロブ夫妻と別れ、今度は、日本政府の義務を離れ、偶然、イギリスの情報機関で働くことにもなり、

新憲法施行・1947＝25歳：ラサの西川を訪ね、ふたりで東チベット往復し、ようやくチベットとじっくりつきあうことになる。

極東裁判決・1948＝26歳：三たびラサに入り、

三大事件・・1949＝27歳：カルカッタで西川と再会。

朝鮮戦争始・1950＝28歳：*西川とともに、インドから日本に送還される。GHQの事情聴取を受けるうち、朝鮮戦争が激化し、米軍からモンゴル語の簡単な会話集作成の協力を頼まれ、

独立回復・・1951＝29歳：CIAに属する機関で、モスクワ放送・ウランバートル放送・北京放送を聞いて、英文にまとめる仕事に従事、以後、アメリカ大使館で情報の仕事を担当し、

インスタントラーメン 1958＝36歳：「チベット潜行十年」が出版される。

美智子妃・・1959＝37歳：この年、ダライラマ14世がインドに亡命

安保闘争・・1960＝38歳：

この間、学生らにモンゴル語を教え、外務省が発行する{モンゴル情報}編集を手伝いながら、インドのチベット亡命政府から派遣された少年・少女の受入れに奔走、

美濃部都知事1967＝45歳：

石油ショック1973＝51歳：

田中角栄逮捕1976＝54歳：*26年勤めたアメリカ大使館を退職、

革新大敗北・1979＝57歳：モンゴルの末裔探しに、ジャワにまで出かけ、

貿易摩擦始・1980＝58歳：_亜細亜大学アジア研究所のモンゴル語教授となり、

・・・・・1981＝59歳：「成田安輝西藏探検行経緯」を同研究所の{紀要}に発表し始め、

中曽根内閣・1982＝60歳：「チベット潜行十年」が中公文庫として再出版。

ジャンボ機墜落1985＝63歳：

竹下登内閣・1987＝65歳：_「成田安輝西藏探検行経緯」が5回目で完結。

昭和天皇没・1989＝67歳：*念願のトルゴート・モンゴル族調査に出たが、北京で倒れ、帰国後、まもなく没した。

翌年、著書「Japanese Agent in Tibet」ロンドンで出版される。

江本嘉伸「西藏漂泊・チベットに魅せられた十人の日本人」、